

Cente Technical Information

発行番号	101-0089	Rev	第1版	発行日	2014/07/03
題名	ショートエントリ検索で誤検出する場合がある不具合について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente FileSystem Ver6.00～Ver6.11 ・Cente Compact FileSystem Ver2.00				
影響API	fopen_uni, rename_uni, remove_uni, move_uni, finfo_uni, get_attr_uni, chg_attr_uni, get_tstamp_uni, chg_tstamp_uni, mkdir_uni, rmdir_uni, opendir_uni				
関連資料	なし				

【現象】

UNICODE API に対して以下のいずれかの条件の名前を指定した場合、ファイル・ディレクトリを誤検出してしまう場合があります。

- 1) ドットが複数ある場合。
- 2) 12文字以内のUNICODE文字列中にASCII変換できないコード(全角文字)が含まれていた場合。
- 3) ショートエントリ中のスペースを含む名前と一致したUNICODE名を指定した場合。

【発生例1】

“01.MP3”という名前のファイルが存在している状態で、以下の例で示す名前でUNICODE APIを実行します。

例: “01.1.mp3”, “01.12.mp3”, “01.123.mp3”, “01.12.45.mp3”, “01.テスト.mp3”
“01.MP3”をアクセス対象としてしまいます。

【発生例2】

“1234567.123”という名前のファイルが存在している状態で、
“1234567 .123”で示す名前でUNICODE APIを実行します。

↑ここはスペースです。

“1234567.123”をアクセス対象としてしまいます。

尚、Windows等の他ファイルシステムとのデータ交換の無い環境、すなわちCente FileSystemのUNICODE APIのみで運用している場合は本現象は発生しません。

【原因】

UNICODE APIは、ロングエントリでの検索で見つからない場合、12文字以内の場合に限りUNICODEをASCII変換しショートエントリ検索します。その際のASCII変換に誤りがあり、指定名以外のエントリを検出してしまう場合があります。

【回避方法】

■プログラム修正による回避方法

修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

以上